

令和5年度

要 覧



社会福祉法人 美和会
静ヶ丘保育園

目 次

・園歌	_____	1
・本園の概要	_____	2
・本園の実態	_____	3
・自衛消防組織	_____	5
・災害安全実施計画	_____	7
・保育園の楽しい給食	_____	9
・行事食、誕生会メニュー	_____	10
・全体的な計画	_____	13
・各クラス 年間指導計画		



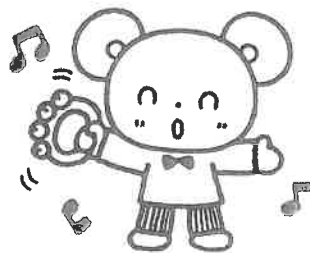
・職員名簿	_____	21
・年間行事予定表	_____	22

静ヶ丘保育園 園歌

作詞 井上 ヨシ子

作曲 井上 健一

にこにこ おひさま ヤッホー(ヤッホー)
あおい おそらに ヤッホー(ヤッホー)
みんな あつまれ てをつなごう
わになって (手拍子) ***
うたおよ (手拍子) ***
はとさん はなさん でんでんさん
ちように ひよこに てんとうさん
みんなのえがおが うれしいな
ヤッホー(ヤッホー) ヤッホー(ヤッホー)
たのしいほいくえん
しずがおか ほいくえん



本園の概要

1. 名称 静ヶ丘保育園
2. 所在地 〒 811 - 0212
福岡市東区美和台7丁目28番1号
TEL 092 (607) 2411
3. 経営主体 社会福祉法人 美和会
理事長 西村 瞳
4. 沿革
昭和50年 8月13日 厚生省設立認可 (厚生省収児第772号)
昭和50年 9月 1日 開園 定員 60名
園舎 377,36 m²
昭和50年 12月 2日 福岡市認可書
昭和55年 4月 1日 40名増員 定員 100名
昭和55年 5月20日 園舎増築 631,06 m²
昭和62年 9月 1日 園舎外廻り塗装
平成 3年 4月 1日 20名増員 定員 120名
園舎増築(はな組、事務室、休息室)801,86 m²
平成 5年 大型補修(園舎塗装と給食室)
平成 7年 5月 1日 10名増員 定員 130名
平成 9年 5月 1日 20名増員 定員 150名
平成11年 4月 1日 50名増員 定員 200名
平成11年 7月30日 定員増による園舎改築(遊戯室)
平成13年 2月28日 大規模修繕工事
平成22年 3月15日 大規模改修工事
平成25年 3月31日 大規模改修工事
5. 職員 (4月1日現在)
理事長・園長 1名、主任保育士 1名、副主任保育士 1名、保育士 17名
アドバイザー 1名、非常勤保育士 12名(内1名看護師)、調理 3名
子育て支援員 1名、調理パート 2名、事務 2名、清掃等 1名
6. 設備
① 敷地面積 1339,01 m²
② 建物面積 801,86 m²
(1F 488.58m² ・ 2F 313.28m²)
③ 園庭面積 650,021 m² (園庭369.606m² 屋上280.415m²)
④ 建物 鉄筋コンクリート2階建て
(増築) 鉄筋コンクリート平屋建

本園の実態

1. 校区別人数

令和5年度
(4月1日現在)

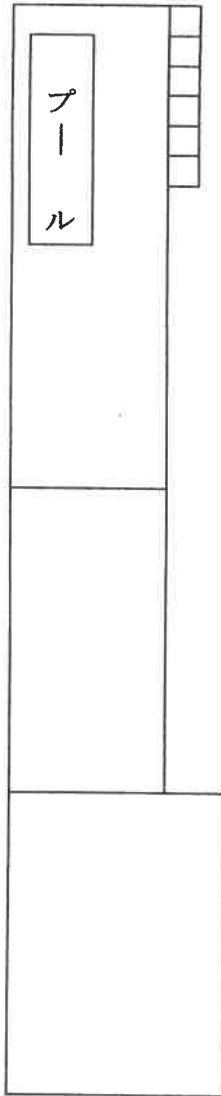
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
美和台	2	21	25	30	25	25	128
三苦	0	2	3	1	4	2	12
和白	0	4	4	4	4	1	17
和白東	2	0	0	1	2	2	7
香住ヶ丘	0	0	0	0	0	1	1
西戸崎	0	1	1	0	1	0	3
千早	0	0	1	0	0	0	1
計	4	28	34	36	36	31	169

2. 通園方法別人数

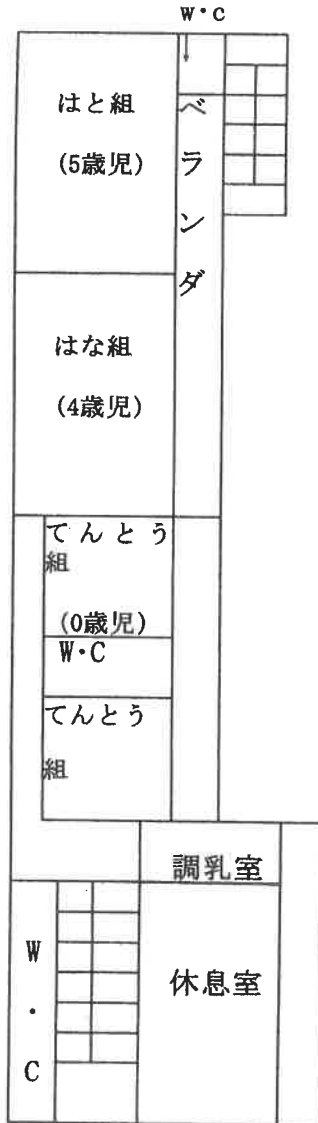
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
徒歩	0	6	5	2	1	3	17
自転車・バイク	0	2	1	1	1	2	7
自家用車	4	20	28	33	34	26	145
計	4	28	34	36	36	31	169



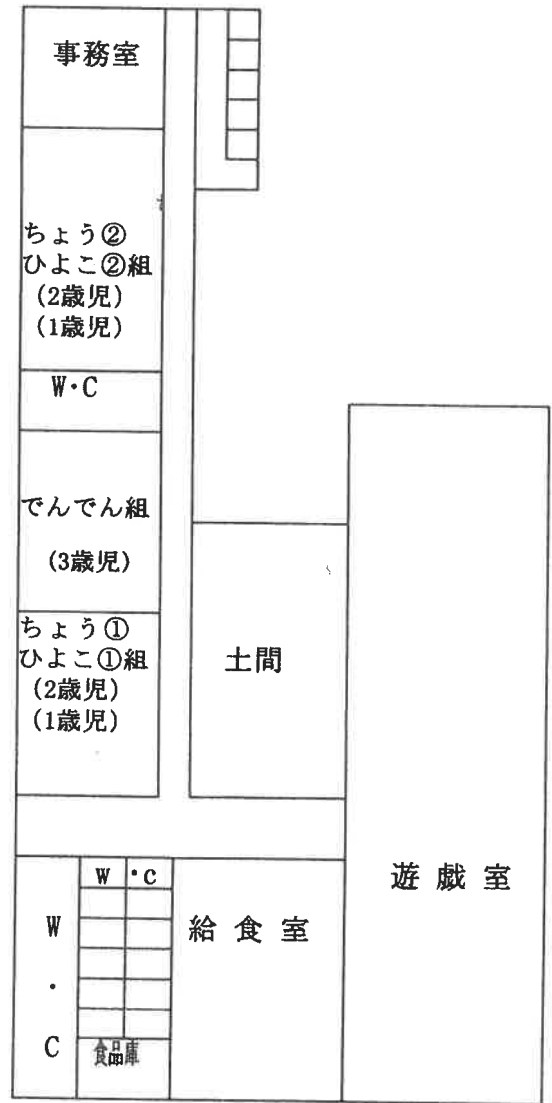
屋上



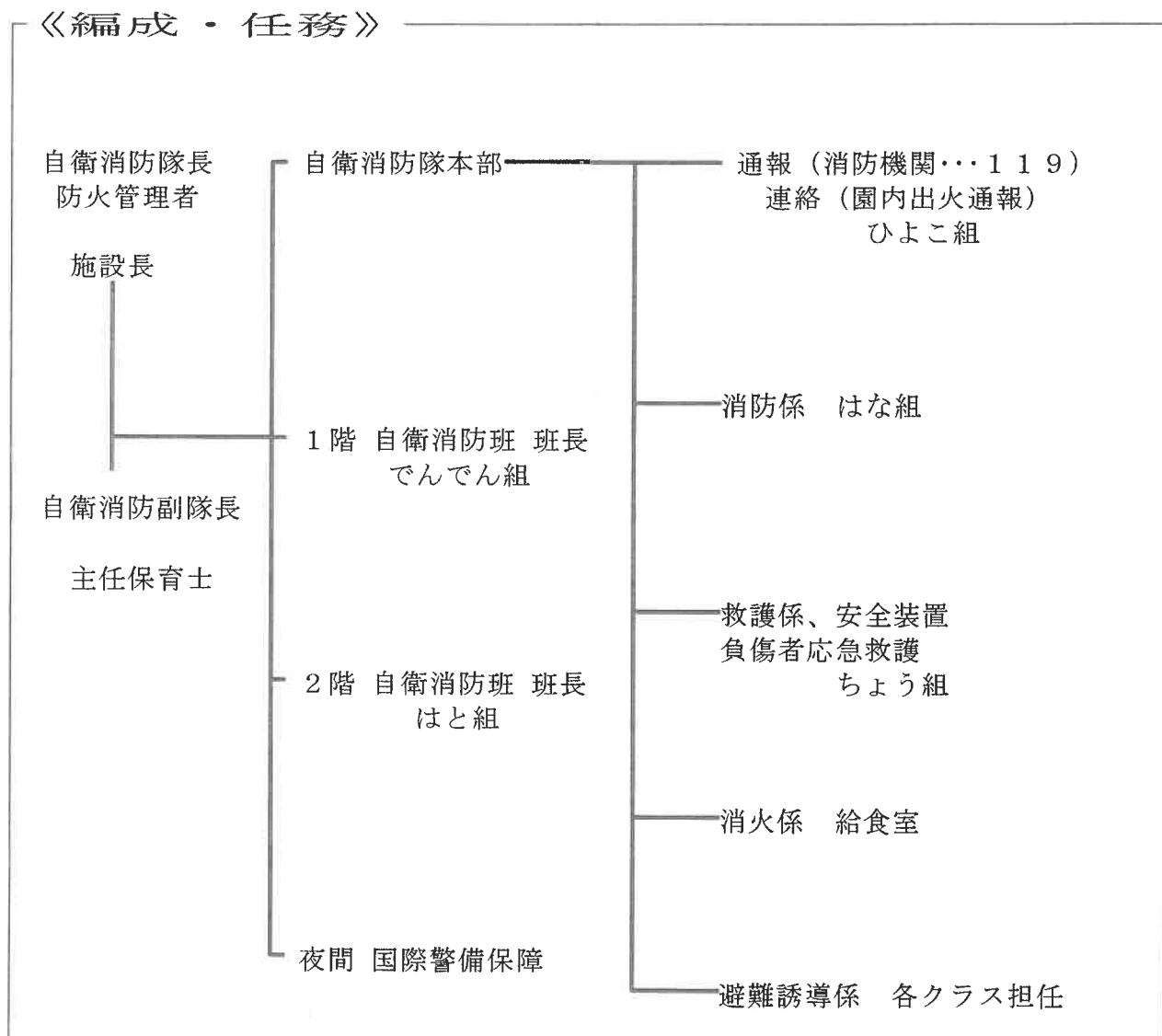
2階



1階



令和5年度：自衛消防組織



〈通報の仕方〉

非常(押しボタン) 110番
 火災 119番
 国際警備保障(株)
 683-5300

- 1 火災か救急か明確に言う。
- 2 火元と住所を目立つ建物などを基準にして告げる。
- 3 消防署の方の質問に従い落ち着いて答える。

火災や地震等の災害で保育園に連絡がつかない場合は、災害伝言ダイヤルに連絡して下さい。別紙に記載しています。

<火災や地震等の災害で保育園に連絡がつかない場合>

① 災害時の場合、連絡を取る為に、園の方からご家族に連絡すると思いますが、やむをえず連絡出来ない場合もありますので御了承下さい。その場合は、災害用伝言ダイヤルをご利用下さい。

② <災害用伝言ダイヤル>「171」

・災害用伝言ダイヤルは、大規模災害が発生した際にNTTがサービスを開始する音声の伝言板です。

・災害用伝言ダイヤルの録音は、災害が起きてから職員がいたします。当日から2日間のみ再生して聞く事が出来ます。操作方法が分からない方でも、ガイダンスが流れますので、ガイダンスに従って以下のように操作して下さい。

171→2→092-607-2411(園の固定番号)→1#→再生→9#
(次の伝言を聞く)→おわり。

③子どもの居場所が分かり次第、お子さんのお迎えを宜しくお願い致します。

④連絡がつかない場合は、避難所にいますのでそちらにお越し下さい。

○美和台校区避難場所

美和台中央公園 (美和台2丁目)

美和台小学校 (美和台2丁目25-1)

○一時避難場所

美和台公民館 (美和台1丁目3-12)

⑤災害時は「JMOBILE」にて一斉送信します。

災害発生時の受信について

東日本大震災では、メール配信が出来ていても携帯側に到着するまでに時間を要する場合が見受けられましたので、災害が発生した時は、以下の方法で受信を試みて下さい。

1. 「iモード問い合わせ」、「新着メール問い合わせ」、「新着メール受信」等の操作をして、携帯会社のサーバーに届いているメールを受信して下さい。この操作により携帯会社のサーバーに留まっているメールを受信することができます。
2. 過去に園から送られたメール本文中にあります<メール開封通知>下の【連絡一覧】のURLをクリックすると、メールが届かない場合でも園からの連絡を確認することができます。

令和5年度 災害安全実施計画

月	主題	項目	ね ら い	出火場所 初期消火	日時・時刻 予定	避難場所	放送 通報依頼
4	火災	避難 消火	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度初めての避難訓練の為、火災の合図を知り、落ち着いて避難する。又、保育士等の話をよく聞き、確実に避難する。 ・自衛消防隊員の役割分担を確実にを行う。 ・消火器操法訓練(ピ・ノ・キ・オ方式) ・初期消火の重要性を知る。又、非常用の持ち物を確認する。 	給食室	19日(水) 10:00	園庭	ちょう
5	火災	認識 避難 消火	<ul style="list-style-type: none"> ・避難のルールを覚える。(「お・は・し・も」の約束) ・火事の恐ろしさについて不安にならない程度に伝え、避難する事の必要性を知らせる。 ・消火器操法訓練 *5月～9月 ミニチャイルドファイヤースクール	ちょう	15日(月) 10:30	園庭	でんでん
6	火災	避難 消火	<ul style="list-style-type: none"> ・火災の合図を確認し、危険のない経路で避難する。 ・消火器操法訓練。 	てんとう	12日(月) 10:00	美和台5号 公園	はな
7	火災 地震	避難 確認 消火	<ul style="list-style-type: none"> ・慌てず、保育士等の指示を聞き、保育士等についていく。 ・地震の恐さを知り、避難についての話を聞く。 ・突然の事態になっても慌てずに避難する。 ・消火器操法訓練。 	給食室	6日(木) 10:00	園庭	ちょう
8	火災 水害	避難 認識 消火	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンカチで口を押さえるなど、基本的な避難行動を確認する。 ・水難事故についての話をしっかり聞き、危険な場所を知る。 ・消火器操法訓練。 	給食室	2日(水) 9:15	園庭	ちょう
9	火災 台風	避難 認識 消火	<ul style="list-style-type: none"> ・午睡中の火災についての避難の仕方を確認する。 ・台風についての話を聞く。 ・各クラスで避難の方法、安全な避難場所を確認しておく。 ・消火器操法訓練。 	オアシスルーム	6日(水) 午睡中	園庭	はと
10	火災 地震	避難 認識 消火	<ul style="list-style-type: none"> ・放送の内容に耳を傾け的確に行動する。 ・火災の時と避難方法が違う事を知り、指示に従う。 ・事前に地震の話を聞き、避難の仕方を知っておく。 ・消火器操法訓練。(地震訓練も含む) 	ひよこ	5日(木) 10:00	美和台中央 公園	でんでん
10	不審者 など	避難 認識	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者の侵入など、緊急時に放送を聞き速やかに避難する。 ・保育士等の誘導に従い、落ち着いて避難する。 ・職員間、関係機関への連絡方法の確認。 	(出役) 園庭	11日(水) 予告なし	各保育室や ホール	事務室
11	火災	認識 避難 消火	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士等の指示をよく聞き、日頃の訓練が活かせるようにする。 ・突然の事態になっても慌てずに避難する。 ・消火器操法訓練。 	予告なし	9日(木) 予告なし	園庭	随時変更
12	火災	認識 避難 消火	<ul style="list-style-type: none"> ・火元や避難の経路を確認する。 ・放送をしっかりと聞き安全経路を確認して避難する。 ・以上児は上靴を履いての避難を行う。 ・消火器操法訓練。 	給食室	11日(月) 9:15	園庭	ちょう
1	火災	避難 認識 消火	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ後の避難を速やかに行う。 ・避難後の待機の仕方を考える。 ・消火器操法訓練。 	はな	11日(木) 午後	園庭	てんとう
2	火災	認識 確認 消火	<ul style="list-style-type: none"> ・火災についての再認識をする。 ・人数確認の大切さを再度認識する。 ・消火器操法訓練。 	予告なし	5日(月) 9:15	園庭	随時変更
3	火災	避難 認識 消火	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士等の誘導に従い、落ち着いて避難する。 ・訓練を活かし、どこにいても素早く子どもを把握し避難する。 ・消火器操法訓練。 	給食室	7日(木) 10:00	美和台5号 公園	ちょう

(火災) ・ 第1避難場所→園庭

・ 第2避難場所→美和台5号公園

(地震) ・ 第1避難場所→園庭

・ 第2避難場所→美和台小学校校庭

<園児の安全確保について>

保育園では、日常の安全管理だけでなく、いつ発生するか予想できない事件や事故などに対して、日頃から園児の安全を確保できるよう緊急時の体制を確立しています。

園児が安全に避難できるように「避難訓練」をすることが大切であり、計画的・継続的に避難訓練を行うことにより、基本的能力が身に付くようにしています。

(不審者の立ち入りなど緊急時の体制)

◎施設内に不審者が立ち入った場合など緊急時に備え、次のような体制を整備している。

- ・直ちに職員が協力体制を取り、人身事故が起きないよう事態に対応する。
- ・不審者に対して、施設外への立ち退きを要求する。
- ・直ちに施設長をはじめ、職員に情報を伝達し、園児への注意喚起、園児の安全を確保し、避難誘導等を行う。
- ・警察や施設・事業所管課、保護者などに対し、直ちに通報する。

(1) 爆発等の予告があった場合

明らかにいたずらと考えられる場合を除き、本物の可能性があると考えて対応すべきであり、まず、全員を安全な場所に避難させ、現地警察に爆発物の捜索を依頼する。

(2) 爆発物等の不審物件を発見した場合

パニック状態の発生を防ぎ、整然と避難することが最も重要で、避難経路(複数)や避難先(複数)を決め、安全を確認する。

(3) 爆発事故等が発生した場合

自衛消防隊長の指揮のもとに、警察・消防が到着するまで、救助・消火避難活動を行う。指示に従って機敏な行動で、園児を安全に誘導する。

子どもに不安や恐怖感を与えないように、落ち着いて子どもに働きかけるようにする。

保育園の楽しい給食

乳幼児期の食事は、将来にわたって心も身体も健康な生活を送るための大切なものです。

保育園における給食では、子どもに応じた適正な栄養補給、望ましい食習慣・食行動の獲得、好ましい食環境の確保など、適切な食事の提供を心がけています。

献立は、福岡市の献立に基づき、園の方針に添って作成されています。

10時の おやつ	牛乳と果物を中心にしています。(未満児のみ)
主食	ビタミンやミネラル、食物繊維の多い玄米を中心に、季節の食材を使ったごはん等、バラエティ豊かに工夫しています。
おかず	薄味を基本とし、素材の味を知り、咀嚼力を育てるため野菜料理を多くし、おだし・スープは天然のものを使用しています。また、食の幅を広げるため、和風、中華風、洋風と、様々な献立を取り入れています。
3時の おやつ	手作りを中心に、旬の果物や野菜など、食事の一環としてふさわしいものを選んでいきます。飲み物はスキムミルクや豆乳です。

◎ 保育園では食中毒を起こさないために細心の注意(手洗い、加熱、消毒等)を払っています。ご家庭でも十分お気を付け下さい。

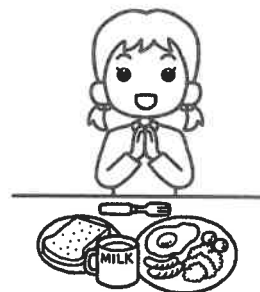
早寝・早起き・朝ごはん

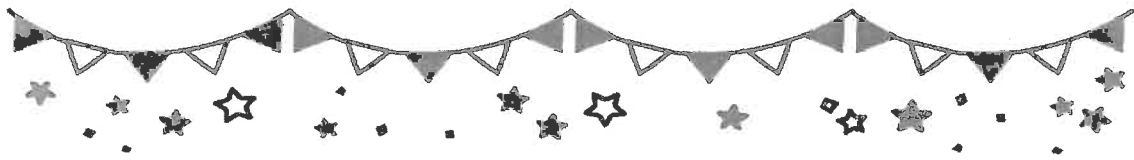
朝ごはんをしっかりと食べていますか？

朝ごはんは、1日を元気に過ごすためのパワーの源です。

そして、乳幼児期は生活習慣の基礎が確定する時期です。

早寝・早起きをして、朝ごはんを食べて、食習慣をきちんとつけることが、生活リズムを整えることにつながります。朝食には、ごはんとおみそ汁をおすすめします。家族みんなで朝ごはんを食べる習慣を身に付けましょう。





令和5年度 行事・誕生会メニュー

月	行事	誕生会メニュー
4月	入園式	カラフルピラフ・鶏のから揚げ ハワイアンサラダ・サラダ菜・いちご
5月	こどもの日	チキンライス・肉団子の甘辛煮・キャベツとじゃこのソテー トマト・オレンジ
6月		鮭ごはん・酢鶏・春雨サラダ サラダ菜・パイナップル
7月	七夕	ちらし寿司・鶏のから揚げ・コールスローサラダ トマト・すいか
8月		カレーピラフ・豚カツ・春雨サラダ トマト・ヨーグルトゼリー
9月	大運動会 お月見会	鮭ごはん・えびフライ・カレースパゲティ ハワイアンサラダ・カルピスゼリー
10月		かぼちゃごはん・目玉ハンバーグ・ブロッコリー にんじんマリネ・りんご
11月	七五三 だしの日	きのこベーコンの洋風混ぜごはん・りんごチキン 炊き合わせ・ブロッコリー・みかん
12月	冬至 クリスマス	カラフルピラフ・タンドリーチキン・ポテトサラダ ブロッコリー・りんご
1月	お正月	お赤飯・油淋鶏・マカロニサラダ サラダ菜・いちご
2月	節分	五目ごはん・ちくわの磯部揚げ・豆のサラダ ブロッコリー・みかん
3月	ひな祭り 卒園式	二色おにぎり・エビフライ・フレンチサラダ ブロッコリー・りんご

※献立は、一部変更する場合があります。

誕生会は、ランチプレートを使用し、旬の食材を取り入れたり、デザートをつけたりと、子ども達が喜ぶよう盛り付けにも創意工夫しています。

令和5年度 食育活動予定

	でんでん組	はな組	はと組
4月	「新生活スタート 食べる前に手を洗おう」		
5月	「こどもの日に食べよう! かしわもち ちまき」		
		さつまいもを植えよう スナップエンドウを収穫しよう	さつまいもを植えよう
6月	「しっかり噛んで 飲みこもう」		
7月	「水はのどが渇く前に飲んでね」		
		生ごみを堆肥にしよう (段ボールコンポスト)	
8月	「クイズ この野菜はなあに?」		
9月	「秋の魚の大きさ比べ」		
10月	「田んぼで育つ おいしい米」		
		芋ほりを体験しよう (さつまいもの収穫)	
	クッキング保育		
11月	「正しい茶碗の持ち方はどれかな?」		
		だしの日 だしを味わおう	
12月	「冬の生活 たくさん葉が集まった白菜」		
1月	「口から入った食べ物はどこへいく?」		
2月	「見た目いろいろ 豆 大集合」		
3月	「ひなまつりに 潮汁を食べたよ」		
	スナップエンドウを植えよう		アップルパイを作ろう

いただきます!

「いただく」は、もともと「頭にのせる」という意味ですが、物をもらったり、飲食したりすることを意味するようになりました。

ただ「食べます」という意味で言うのではなく、さまざまな動植物の「命をいただきます」という意味も込められています。心から感謝して食事を始めましょう。

いただきます



ごちそうさまでした



ごちそうさま!

「馳走(ちそう)」は「かけまわる」という意味があります。

かけまわって食事の準備をしてくれた人々への感謝の気持ちが込められています。

食育年間計画

期	1期 (4月～5月)	2期 (6月～8月)	3期 (9月～12月)	4期 (1月～3月)
園全体の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境での食事に慣れる 友達と一緒に給食やおやつを楽しく食べる 異年齢児との食事を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な食習慣や衛生習慣を身に付ける 菜園活動を通して夏の食べ物への関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物を通して秋を感じる 好きな食べ物を増やす 食べ物や関わる人への感謝の気持ちを持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統行事と食事に関心を持つ 成長した喜びを感じる
主要行事	<ul style="list-style-type: none"> 入園式 こどもの日 		<ul style="list-style-type: none"> 大運動会・お月見会 クッキング保育 七五三・クリスマスお遊戯会 	<ul style="list-style-type: none"> 豆まき ひな祭り 卒園式
0歳児	よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ。 色々な食べ物に関心を持ち、自分から食べようとする。 食事前後や汚れた時は、顔や手を拭き、きれいになった心地良さを感じる。			
1歳児	保育士等の援助によって身の回りを清潔にし、食生活に必要な活動を自分でする。 保育士等を仲立ちとして、友達と共に食事を進め、一緒に食べる楽しさを味わう。 食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心を持つ。			
2歳児	食事に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける。 健康な生活リズムを身に付ける。			
3歳児	食事準備の過程の中で、保育士の援助を受けながら、自分でできることを増やす。 食事に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける。 健康な生活リズムを身に付ける。			
4歳児	食事準備の過程の中で、保育士の援助を受けながら、配膳の仕方を学ぶ。 慣れない食べ物や嫌いな食べ物にも挑戦する。 食の場を共有する中で、友達との関わりを深め、思いやりを持つ。 自分たちで愛情を持って野菜を育て、収穫を喜ぶ。			
5歳児	様々な食べ物を選んで食べる。自分の健康に関心を持ち必要な食品を選んで摂ろうとする。 地域で培われた食文化を体験し、郷土への関心を持つ。 同じ食事を食べたり、分け合って食事をすることを喜ぶ。			
給食	<ul style="list-style-type: none"> 衛生的で安全な食事の提供 夏の野菜について伝える 水分補給に配慮する 	<ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせた秋や冬の食べ物給食に取り入れる 年齢に応じて食欲を満たしているか量に配慮する 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統の行事食について知らせる 適温配膳に配慮する 	
給食室	<ul style="list-style-type: none"> 4月 手洗いについて 5月 行事食について 	<ul style="list-style-type: none"> 6月 咀嚼について 7月 水分補給について 8月 食べ物の名前について 	<ul style="list-style-type: none"> 9月 身近な食べ物について 10月 米のなり方について 11月 食事マナーについて 12月 旬の食べ物について 	<ul style="list-style-type: none"> 1月 消化・吸収について 2月 身近な食べ物について 3月 行事食について

～ 全体的な計画 ～

～ 各クラスの
年間指導計画 ～

年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	
環境	<ul style="list-style-type: none"> 子どもからの働きかけを踏まえた応答的な関わりや言葉がけにより、欲求が満たされ、安定感をもって過ごす。 体の動きや表情、発声、喃語等を感しく受け止めてもらい、保育士等との生活や遊びの中で、自分の身近な人の存在に気づき、親しみの気持ちを表す。 保育士等による語りかけや歌いかけ、発声や喃語等への応答を通じて、言葉の理解や発語の意欲が育つ。 細かく、容器的な関わりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全で活動しやすい環境での探索活動等を通して、見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の働きを豊かにする。 玩具、絵本、遊具などに興味をもち、それらを使った遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとする。 生活に必要な簡単な言葉に気づき、聞き分ける。 親しみをもち、日常の挨拶に応じる。 絵本や遊具を通して、身近な言葉や動き、色、形、音、匂いなどに気づき、感覚の働きを豊かにする。 保育士等と一緒に様々な色や形のものや絵本などを見る。 玩具や身の回りのものをつまむ、たたき、引くなど、手や指を使って遊ぶ。 保育士等のあやし遊びに機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて手や体を動かして楽しんだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのものに触れる中で、形、色、大きさ、量などの物の性質や仕組みに気づく。 自分の物と人の物の区別や、場所的感覚など、環境を捉える感覚が育つ。 身近な生き物に気づき、親しみをもち、近隣の生活や季節の行事などに興味や関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士等や友達との言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもち、聞いていたり、話したりする。 見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。 したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分かちあうことを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な動植物に親しみをもち、探し、生命の尊さに気づき、いたわったり、大切にしたりする。 身近な物や遊具に興味をもち、自分なりに比べたり、関連付けたりしながら考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。 日常生活の中で数量や図形などに関心をもつ。 日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心をもつ。 生活に關係の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。 保育所内外の行事において国旗に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。 身近な物を大切に扱う。 身近な物や遊具に興味をもち、自分なりに比べたり、関連付けたりしながら考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。 日常生活の中で数量や図形などに関心をもつ。 日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心をもつ。 生活に關係の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。 保育所内外の行事において国旗に親しむ。
	社会的発達に関する視点						
言葉							
	精神的発達に関する視点						
表現							
	食育						
健康及び安全							
	子どもの健康管理並びに栄養及び栄養状態の把握については、保護者からの情報とともに定期的に継続的に、随時把握し、疾病が疑われるような場合には、看護師の専門性を活かして適切な対応を図る。また、子どもとの健康増進、感染症やその他の疾病予防に関しても、保健師の指示や看護師の専門性を活かす。	<ul style="list-style-type: none"> よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ。 いろいろな食べ物に関心をもち、自分から食べようとする。 食事前後や汚れた時は、顔や手を拭ききれいにしたい心地地味さを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士等を仲立ちとして、友達と共に食事を進め、一緒に食べる楽しさを味わう。 食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心を持つ。 保育士等の援助によって身の回りを清潔にし、食生活に必要な活動を自分でする。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける。また、楽しく食事をするためのマナーに気づき守ろうとする。 健康な生活のリズムを身に付ける。 食事準備の過程の中で、保育士等の援助を受けながら、自分で出来ることを増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の状況に配慮した個別の支援も含め、相互の信頼関係を基本に保護者の自己決定を尊重した支援を行う。また、保育所の特性や保育士の専門性を生かして、子育ての喜びが感じられるように努める。地域に開かれた子育て支援として、地域の実情を踏まえ、関係機関等との積極的な連携及び協働を図り、保育所保育の特性を生かした子育て支援を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 食の場を共有する中で、友達との関わりを深め、思いやりを持つ。 慣れない食べ物や嫌いな食べ物にも挑戦する。 自分で愛情を持って野菜を育て、収穫を喜ぶ。 食事に関わる人に関心を持ち、感謝の気持ちを表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 食の場を共有する中で、友達との関わりを深め、思いやりを持つ。 慣れない食べ物や嫌いな食べ物にも挑戦する。 自分で愛情を持って野菜を育て、収穫を喜ぶ。 食事に関わる人に関心を持ち、感謝の気持ちを表す。

☆身体的発達に関する視点「健やかに伸び伸びと育つ」、社会的発達に関する視点「身近な人と気持ちは通じ合う」、精神的発達に関する視点「身近なものに関わり感性が育つ」

【年間目標（育みたい子どもの姿）】

安心できる保育士等との関係の下で子ども一人一人の発達過程や健康状態、発育及び発達状態に応じた関わりをすることで生命の保持と情緒の安定が図られる。保育士等の愛情豊かであった応答的な関わりにより健やかで情緒的な絆が形成される。

期		1期（3か月～5か月）	2期（6か月～8か月）	3期（9か月～11か月）	4期（12か月～14か月）
ねらい	養護	一人一人の子どもの生理的欲求が十分に満たされるようにする。 身体感覚が育ち、快適な環境に心地良さを感じる。	一人一人の子どもの生理的欲求が十分に満たされるようにする。 身体感覚が育ち、快適な環境に心地良さを感じる。	一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。 伸び伸びと体を動かかし、はう、歩くなどの運動をしようとする。	一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。
	教育	一人一人の子どもの平常の健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。 一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら応答的な触れ合いや言葉かけを行う。	一人一人の子どもの平常の健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。 一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら応答的な触れ合いや言葉かけを行う。	一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。 伸び伸びと体を動かかし、はう、歩くなどの運動をしようとする。 一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。	一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。
内容	養護	一人一人の子どもの平常の健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。 一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら応答的な触れ合いや言葉かけを行う。	一人一人の子どもの平常の健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。 一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら応答的な触れ合いや言葉かけを行う。	一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。	一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。
	教育	一人一人の子どもの平常の健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。 一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら応答的な触れ合いや言葉かけを行う。 一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。	一人一人の子どもの平常の健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。 一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら応答的な触れ合いや言葉かけを行う。 一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。	一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。 個人差に応じて、授乳を行い、離乳を進めていく中で、様々な食品に少しずつ慣れ、食べことを楽しむ。 一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。	一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。 個人差に応じて、授乳を行い、離乳を進めていく中で、様々な食品に少しずつ慣れ、食べことを楽しむ。 一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。
食育	養護	一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。	一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。	一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。	一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。
	教育	一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。	一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。	一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。	一人一人の子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共通の継続的な信頼関係を築いていく。
【家庭・地域との連携】 「子どもの最善の利益」の為に日頃から保護者に対して協力を得られるように保育の意図を説明し、各家庭の実態を踏まえると共に保護者の気持ちを受け止め、相互理解を図る。					
【評価・反省】					

☆身体的発達に関する視点「健やかに伸び伸びと育つ」、社会的発達に関する視点「身近な人と気持ちよく通じ合う」、精神的発達に関する視点「身近なものに関わり感性が育つ」

期	5期 (15か月～17か月)	6期 (18か月～20か月)	7期 (21か月～23か月)	期 (か月～ か月)
ねらい	養護 一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。	一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。	一人一人の子どもが安定感を持って過ごせるようにする。	
	教育 体の動きや表情、発声等により、保育士等と気持ちを通わせようとする。	見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。	身体の諸感覚による認識が豊かになり、表情や手足、体の動き等で表現する。	
内容	養護 生命の保持 情緒の安定 ・清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。又、家庭と協力しながら、子どもの発達過程に応じた適切な生活のリズムがつくられていくようにする。 ・一人一人の子どもの気持ちを理解し、受容することにより子どもが安心して自分の気持ちを表せるようにする。	・清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。又、家庭と連携しながら、子どもの発達過程に応じた適切な生活のリズムがつくられていくようにする。 ・保育士等との信頼関係を基盤に、一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などが高められるようにする。	・子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようになる。また、食事排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にすることなどについて、子どもが意欲的に生活できるよう適切に援助する。 ・一人一人の子どもの信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表すことができるようになる。 ・一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようになる。	
	教育 身体的発達に 社会的発達に 精神的発達に 関する視点 関する視点 関する視点	・一人一人の生活のリズムに応じて、安全な環境の下で十分に午睡をする。 ・生活や遊びの中で、自分の身近な人の存在に気づき、親しみの気持ちを表す。 ・保育士等と一緒に様々な色彩や形のものや絵本などをみる。	・おむつ交換や衣服の着脱を通じて、清潔になることの心地良さを感じる。 ・保育士等による語りかけや歌いかけ、発声や喃語等への応答を通じて、言葉の理解や発語の意欲が育つ。 ・保育士等とのあやし遊びに機嫌よく応じたり歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しんでいく。	・おむつ交換や衣服の着脱を通じて、清潔になることの心地良さを感じる。 ・温かく、受容的な関わりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える。 ・保育士等とのあやし遊びに機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しんでいく。
食育	・好き嫌いが出てくる時期だが、量を加減したり優しい声掛けをしてもいいながら色々な食べ物に興味を持ち、自分で食べようとする。	・いろいろな食べ物に興味を持ち、保育士等に援助されながらスプーンを使って、意欲的に食べようとする。又、よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ。	・様々な食品に慣れるとともに、和やかな雰囲気の中で食べる喜びや楽しさを味わい、自分から食べようとする。	

☆身体的発達に関する視点「健やかに伸び伸びと育つ」、社会的発達に関する視点「身近な人と気持ちが通じ合う」、精神的発達に関する視点「身近なものに関わり感性が育つ」

令和5年度

組

ちょう

1・2歳児

年間指導計画

【年間目標（育みたい子どもの姿）】

- ・保育士等との安定した関わりの中で、食事・身の回りのことを自分でしようとし、自分でできた喜びを感じる。
- ・様々なものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。

発達過程	1歳6か月・2歳6か月		2歳・3歳		3歳（9月～12月）		4歳（1月～3月）	
	1歳6か月	2歳6か月	2歳	3歳				
養護	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの不安や欲求を受け止め、一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ・保育士等と一緒に好きな遊びを見つけて楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達状態に合わせて生活の安定を図り、一人一人の子どもが快適に生活できるようにする。 ・保育士等に見守られながら、食事や衣服の着脱など身の回りのことを自分でしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発育に応じて、身体を動かす機会を十分に確保し、自ら体を動かそうとする意欲が育つようにする。 ・保育士等や友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達過程に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。又、食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にするこなどについて、子どもが意欲的に生活できるように適切に援助する。 ・一人一人の子どもの生活のリズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信をもつことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるよう適切に働きかける。 ・身近な人との関わりの中で、自分の意志や欲求を表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるよう適切に働きかける。 	
生命の保持・情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの平常の健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。 ・一人一人の子どもの気持ちを受容し、共感しながら、子どもとの継続的な信頼関係を築いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子ども達の生理的欲求を満たしていく。また、家庭と協力しながら子ども達の発達過程等に応じた適切な生活のリズムが作られていくようにする。 ・一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れ合いや言葉かけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達過程に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようにする。又、食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にするこなどについて、子どもが意欲的に生活できるように適切に援助する。 ・一人一人の子どもの生活のリズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの生活のリズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携を密にし、嘔吐等との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 ・保育士等との信頼関係を基盤に、一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信をもつことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携を密にし、嘔吐等との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 ・保育士等との信頼関係を基盤に、一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信をもつことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。 		
健康・人間関係・環境・言葉・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な食品や調理形態に慣れ、ゆったりとした雰囲気の中で食事や間食を楽しむ。 ・保育士等の受容的・応答的な関わりの中で、欲求を適切に満たし、安定感をもって過ごす。 ・玩具、絵本、遊具等に興味を持ち、それらを使った遊びを楽しむ。 ・身の回りのものに触れる中で、形、色、大きさ、量等の物の性質や仕組みに気付く。 ・保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとする。 ・歌を歌ったり、簡単な手遊びや全身を使う遊びを楽しんだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りを清潔に保つ心地良さを感じ、その習慣が少しずつ身に付く。 ・保育士等の助けを借りながら、衣類の着脱を自分でしようとする。 ・保育士等の仲立ちにより、他の子どもとの関わり方を少しずつ身に付ける。 ・自分の物と人の物の区別や、場地的感覚等、環境を捉える感覚が育つ。 ・保育士等とごっこ遊びをする中で、言葉のやりとりを楽しむ。 ・水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを楽しむ。 ・保育園の生活の仕方に慣れ、きまきがあることや、その大切さに気付く。 ・近隣の生活や季節の行事などに興味や関心を持つ。 ・保育士等を仲立ちとして、生活や遊びの中で友達との言葉のやり取りを楽しむ。 ・音楽、リズムやそれに合わせた体の動きを楽しむ。 ・保育士等からの話や、生活や遊びの中での出来事を通して、イメージを豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを楽しむ。 ・保育園の生活の仕方に慣れ、きまきがあることや、その大切さに気付く。 ・近隣の生活や季節の行事などに興味や関心を持つ。 ・保育士等を仲立ちとして、生活や遊びの中で友達との言葉のやり取りを楽しむ。 ・音楽、リズムやそれに合わせた体の動きを楽しむ。 ・保育士等からの話や、生活や遊びの中での出来事を通して、イメージを豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・便器での排泄に慣れ、自分で排泄ができるようになる。 ・生活や遊びの中で、年長児や保育士等の真似をしたり、ごっこ遊びを楽しんだりする。 ・身近な生き物に気付き、親しみを持つ。 ・保育士等や友達との言葉や話に興味や関心を持って、聞いたり、話したりする。 ・生活や遊びの中で、興味のあることや経験したこと等を自分なりに表現する。 			
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・食事前後の挨拶を丁寧に言い、皆と一緒に食事を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事準備の過程の中で、保育士の援助を受けながら、自分でできることを増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活リズムを身に付ける。 ・箸に興味を示し、箸を使って食べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活リズムを身に付ける。 ・箸に興味を示し、箸を使って食べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活リズムを身に付ける。 ・箸に興味を示し、箸を使って食べようとする。 			

【評価・反省】

【家庭・地域との連携】 保護者に対して日頃の子どもの様子や、日々の保育の意図等を説明し、各家庭の実態を踏まえ、また、保護者との相互理解を図るように努める。地域の機関や団体においても協力を得る。

年間指導計画

3・④・5歳児（

はな組）

令和5年度

【年間目標（育みたい子どもの姿）】

・友達と関わることで、自分の考え方と違う考え方があることに気付き、少しずつ協調性や思いやりの心を育む。

期	1期（4月～5月）	2期（6月～8月）	3期（9月～12月）	4期（1月～3月）
行事	入園式（新児のみ） 軟式遊具 内科健診 こどもの日の会 人形劇朗読 保育参観 毎週日曜日（休園日） 月1回（身体測定 薬社会 運動会）	園形遊戯 プール開き 夏のあそび会 段ボールコンポスト 交通安全教室	小運動会 大運動会 マーチング発表会 戸外遊戯 お月見会 祖父母との絆の会 おおきなさんとのふれあい会 クッキング保育 七五三お祝い会 小豆運動会 クリスマスマス遊戯会 卒・任前記念写真撮影	年終の会 豆まきの会 保育参観 音楽鑑賞会 ひなまつりの会 園外保育 卒・任前記念お祝い会
ねらい	養護	・一人一人の子どもの健康で安全に過ごせるようにする。又、自分の気持ちや安心して表すことができるようにする。 ・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。	・一人一人の子どもの生理的欲求が満たされ、周囲から受け止められ自分を肯定する気持ちが育まれるようにする。 ・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや思ったことを話し、伝え合う喜びを味わう。	・一人一人の成長が認められるようにする。 ・友達とのつながりを深めながら、様々な集団活動を通して基本的な生活習慣や態度を身に付ける。
	教育	・一人一人の子どもの平常の健康状態や発達や発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。 ・一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れ合いや言葉掛けを行う。 ・身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。 ・色々な遊びの中で歩く・走る・跳ぶなどの基本的な運動や遊具を使って、十分に体を動かす。 ・友達の良い目に気付かせ、一緒に活動する楽しさを味わう。 ・良い事や悪い事があることに気付かせ、それを考えながら行動する。 ・持ち物の片付けや整理を自ら進んで行う。 ・春の自然に触れながら、季節の変化に気付く。 ・好きな玩具や遊具に興味を持ち、様々な遊びを楽しむ。 ・人形劇を観劇し、話に興味を持ち、様々な変化を楽しむ。 ・親しみをもち、日常生活に必要な挨拶をする。 ・自分の名前や文字に興味を持つ。 ・生活の中で必要な言葉が分かり、使うようになる。 ・保育士と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。 ・リトミックでは、音楽に合わせて自由に体を動かしたり、表現することを楽しむ。	・家庭との連携を密にし、職務等との連携を図りながら、子どもの発達や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。 ・一人一人の子どもの気持ちを受容し、共感しながら、子どもとの関係性が信頼関係を築いていく。 ・保育士等や友達と食べることが楽しみ、食べ物への興味や関心を持つ。 ・戸外遊びや水遊びの楽しさを感じながら、思い切り体を動かす。又、保育士等に促されて水分補給や休息をしっかりとる。 ・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることにも気付く。 ・人の役に立つことを喜び、誇らしく感じられるようになる。 ・自然の中にある身近な草花や虫、事象に興味を持つ。 ・日常生活の中で数値や図形などに興味を持つ。 ・水、砂、土、紙、粘土など、様々な素材に触れ遊びながら、製作を楽しむ。 ・自分で考えたことや経験したことを、保育士等や友達に自分の言葉で話し、伝え合うことを楽しむ。 ・絵本や童話、図鑑に興味を持ち、手に取って見て楽しむ。 ・感じたこと、考えたことなどを言葉や動きなどで表現したり、自由に描いたり、作ったりする。 ・リトミックでは、肩や両手・両足の屈伸等、体全体を意識して動かしたり、異年齢児と積極的に関わろうとする。	・清潔で安全な環境を整え、応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。又、家庭と協力し、子どもの発達過程等に合わせた適切な生活の仕方がつくられていくようにする。 ・保育士等との信頼関係の中で、一人一人の子どもの主体性に関わり、自発性や探索意欲などを高めると共に、自分への自信をもつことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。 ・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 ・自分で生活する場所を整えながら見通しを持って行動する。 ・色々な運動用具の使い方をよく知り、危険な遊び方を色々と自ら安全に遊ぶ。 ・友達と親しみを深め、自分達で簡単なルールを作って遊ぶ。 ・友達と楽しく活動する中で、共通の目的を思いだし、工夫したり、協力したりする。 ・秋の自然に触れ、それらを遊びや生活に取り入れようとすること。 ・時々の役割を知り、生活時間に関心を持つ。 ・絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。 ・人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。 ・身近な生活経験を“ごっこ遊び”に取り入れて、身体や言葉での表現を楽しむ。 ・様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う喜びや楽しさを味わう。 ・リトミックでは、異年齢児との交流やペア活動をを通して、関わり行動に気付かせ、興味、意欲を感じながら楽しむ。
内容	健康	・身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。 ・色々な遊びの中で歩く・走る・跳ぶなどの基本的な運動や遊具を使って、十分に体を動かす。 ・友達の良い目に気付かせ、一緒に活動する楽しさを味わう。 ・良い事や悪い事があることに気付かせ、それを考えながら行動する。 ・持ち物の片付けや整理を自ら進んで行う。 ・春の自然に触れながら、季節の変化に気付く。 ・好きな玩具や遊具に興味を持ち、様々な遊びを楽しむ。 ・人形劇を観劇し、話に興味を持ち、様々な変化を楽しむ。 ・親しみをもち、日常生活に必要な挨拶をする。 ・自分の名前や文字に興味を持つ。 ・生活の中で必要な言葉が分かり、使うようになる。 ・保育士と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。 ・リトミックでは、音楽に合わせて自由に体を動かしたり、表現することを楽しむ。	・保育士等や友達と食べることが楽しみ、食べ物への興味や関心を持つ。 ・戸外遊びや水遊びの楽しさを感じながら、思い切り体を動かす。又、保育士等に促されて水分補給や休息をしっかりとる。 ・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることにも気付く。 ・人の役に立つことを喜び、誇らしく感じられるようになる。 ・自然の中にある身近な草花や虫、事象に興味を持つ。 ・日常生活の中で数値や図形などに興味を持つ。 ・水、砂、土、紙、粘土など、様々な素材に触れ遊びながら、製作を楽しむ。 ・自分で考えたことや経験したことを、保育士等や友達に自分の言葉で話し、伝え合うことを楽しむ。 ・絵本や童話、図鑑に興味を持ち、手に取って見て楽しむ。 ・感じたこと、考えたことなどを言葉や動きなどで表現したり、自由に描いたり、作ったりする。 ・リトミックでは、肩や両手・両足の屈伸等、体全体を意識して動かしたり、異年齢児と積極的に関わろうとする。	・清潔で安全な環境を整え、応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。又、家庭と協力し、子どもの発達過程等に合わせた適切な生活の仕方がつくられていくようにする。 ・保育士等との信頼関係の中で、一人一人の子どもの主体性に関わり、自発性や探索意欲などを高めると共に、自分への自信をもつことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。 ・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 ・自分で生活する場所を整えながら見通しを持って行動する。 ・色々な運動用具の使い方をよく知り、危険な遊び方を色々と自ら安全に遊ぶ。 ・友達と親しみを深め、自分達で簡単なルールを作って遊ぶ。 ・友達と楽しく活動する中で、共通の目的を思いだし、工夫したり、協力したりする。 ・秋の自然に触れ、それらを遊びや生活に取り入れようとすること。 ・時々の役割を知り、生活時間に関心を持つ。 ・絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。 ・人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。 ・身近な生活経験を“ごっこ遊び”に取り入れて、身体や言葉での表現を楽しむ。 ・様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う喜びや楽しさを味わう。 ・リトミックでは、異年齢児との交流やペア活動をを通して、関わり行動に気付かせ、興味、意欲を感じながら楽しむ。
	人間関係・環境	・身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。 ・色々な遊びの中で歩く・走る・跳ぶなどの基本的な運動や遊具を使って、十分に体を動かす。 ・友達の良い目に気付かせ、一緒に活動する楽しさを味わう。 ・良い事や悪い事があることに気付かせ、それを考えながら行動する。 ・持ち物の片付けや整理を自ら進んで行う。 ・春の自然に触れながら、季節の変化に気付く。 ・好きな玩具や遊具に興味を持ち、様々な遊びを楽しむ。 ・人形劇を観劇し、話に興味を持ち、様々な変化を楽しむ。 ・親しみをもち、日常生活に必要な挨拶をする。 ・自分の名前や文字に興味を持つ。 ・生活の中で必要な言葉が分かり、使うようになる。 ・保育士と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。 ・リトミックでは、音楽に合わせて自由に体を動かしたり、表現することを楽しむ。	・保育士等や友達と食べることが楽しみ、食べ物への興味や関心を持つ。 ・戸外遊びや水遊びの楽しさを感じながら、思い切り体を動かす。又、保育士等に促されて水分補給や休息をしっかりとる。 ・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることにも気付く。 ・人の役に立つことを喜び、誇らしく感じられるようになる。 ・自然の中にある身近な草花や虫、事象に興味を持つ。 ・日常生活の中で数値や図形などに興味を持つ。 ・水、砂、土、紙、粘土など、様々な素材に触れ遊びながら、製作を楽しむ。 ・自分で考えたことや経験したことを、保育士等や友達に自分の言葉で話し、伝え合うことを楽しむ。 ・絵本や童話、図鑑に興味を持ち、手に取って見て楽しむ。 ・感じたこと、考えたことなどを言葉や動きなどで表現したり、自由に描いたり、作ったりする。 ・リトミックでは、肩や両手・両足の屈伸等、体全体を意識して動かしたり、異年齢児と積極的に関わろうとする。	・清潔で安全な環境を整え、応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。又、家庭と協力し、子どもの発達過程等に合わせた適切な生活の仕方がつくられていくようにする。 ・保育士等との信頼関係の中で、一人一人の子どもの主体性に関わり、自発性や探索意欲などを高めると共に、自分への自信をもつことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。 ・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 ・自分で生活する場所を整えながら見通しを持って行動する。 ・色々な運動用具の使い方をよく知り、危険な遊び方を色々と自ら安全に遊ぶ。 ・友達と親しみを深め、自分達で簡単なルールを作って遊ぶ。 ・友達と楽しく活動する中で、共通の目的を思いだし、工夫したり、協力したりする。 ・秋の自然に触れ、それらを遊びや生活に取り入れようとすること。 ・時々の役割を知り、生活時間に関心を持つ。 ・絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。 ・人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。 ・身近な生活経験を“ごっこ遊び”に取り入れて、身体や言葉での表現を楽しむ。 ・様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う喜びや楽しさを味わう。 ・リトミックでは、異年齢児との交流やペア活動をを通して、関わり行動に気付かせ、興味、意欲を感じながら楽しむ。
表現	言葉	・身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。 ・色々な遊びの中で歩く・走る・跳ぶなどの基本的な運動や遊具を使って、十分に体を動かす。 ・友達の良い目に気付かせ、一緒に活動する楽しさを味わう。 ・良い事や悪い事があることに気付かせ、それを考えながら行動する。 ・持ち物の片付けや整理を自ら進んで行う。 ・春の自然に触れながら、季節の変化に気付く。 ・好きな玩具や遊具に興味を持ち、様々な遊びを楽しむ。 ・人形劇を観劇し、話に興味を持ち、様々な変化を楽しむ。 ・親しみをもち、日常生活に必要な挨拶をする。 ・自分の名前や文字に興味を持つ。 ・生活の中で必要な言葉が分かり、使うようになる。 ・保育士と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。 ・リトミックでは、音楽に合わせて自由に体を動かしたり、表現することを楽しむ。	・保育士等や友達と食べることが楽しみ、食べ物への興味や関心を持つ。 ・戸外遊びや水遊びの楽しさを感じながら、思い切り体を動かす。又、保育士等に促されて水分補給や休息をしっかりとる。 ・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることにも気付く。 ・人の役に立つことを喜び、誇らしく感じられるようになる。 ・自然の中にある身近な草花や虫、事象に興味を持つ。 ・日常生活の中で数値や図形などに興味を持つ。 ・水、砂、土、紙、粘土など、様々な素材に触れ遊びながら、製作を楽しむ。 ・自分で考えたことや経験したことを、保育士等や友達に自分の言葉で話し、伝え合うことを楽しむ。 ・絵本や童話、図鑑に興味を持ち、手に取って見て楽しむ。 ・感じたこと、考えたことなどを言葉や動きなどで表現したり、自由に描いたり、作ったりする。 ・リトミックでは、肩や両手・両足の屈伸等、体全体を意識して動かしたり、異年齢児と積極的に関わろうとする。	・清潔で安全な環境を整え、応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。又、家庭と協力し、子どもの発達過程等に合わせた適切な生活の仕方がつくられていくようにする。 ・保育士等との信頼関係の中で、一人一人の子どもの主体性に関わり、自発性や探索意欲などを高めると共に、自分への自信をもつことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。 ・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 ・自分で生活する場所を整えながら見通しを持って行動する。 ・色々な運動用具の使い方をよく知り、危険な遊び方を色々と自ら安全に遊ぶ。 ・友達と親しみを深め、自分達で簡単なルールを作って遊ぶ。 ・友達と楽しく活動する中で、共通の目的を思いだし、工夫したり、協力したりする。 ・秋の自然に触れ、それらを遊びや生活に取り入れようとすること。 ・時々の役割を知り、生活時間に関心を持つ。 ・絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。 ・人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。 ・身近な生活経験を“ごっこ遊び”に取り入れて、身体や言葉での表現を楽しむ。 ・様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う喜びや楽しさを味わう。 ・リトミックでは、異年齢児との交流やペア活動をを通して、関わり行動に気付かせ、興味、意欲を感じながら楽しむ。
	表現	・身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。 ・色々な遊びの中で歩く・走る・跳ぶなどの基本的な運動や遊具を使って、十分に体を動かす。 ・友達の良い目に気付かせ、一緒に活動する楽しさを味わう。 ・良い事や悪い事があることに気付かせ、それを考えながら行動する。 ・持ち物の片付けや整理を自ら進んで行う。 ・春の自然に触れながら、季節の変化に気付く。 ・好きな玩具や遊具に興味を持ち、様々な遊びを楽しむ。 ・人形劇を観劇し、話に興味を持ち、様々な変化を楽しむ。 ・親しみをもち、日常生活に必要な挨拶をする。 ・自分の名前や文字に興味を持つ。 ・生活の中で必要な言葉が分かり、使うようになる。 ・保育士と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。 ・リトミックでは、音楽に合わせて自由に体を動かしたり、表現することを楽しむ。	・保育士等や友達と食べることが楽しみ、食べ物への興味や関心を持つ。 ・戸外遊びや水遊びの楽しさを感じながら、思い切り体を動かす。又、保育士等に促されて水分補給や休息をしっかりとる。 ・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることにも気付く。 ・人の役に立つことを喜び、誇らしく感じられるようになる。 ・自然の中にある身近な草花や虫、事象に興味を持つ。 ・日常生活の中で数値や図形などに興味を持つ。 ・水、砂、土、紙、粘土など、様々な素材に触れ遊びながら、製作を楽しむ。 ・自分で考えたことや経験したことを、保育士等や友達に自分の言葉で話し、伝え合うことを楽しむ。 ・絵本や童話、図鑑に興味を持ち、手に取って見て楽しむ。 ・感じたこと、考えたことなどを言葉や動きなどで表現したり、自由に描いたり、作ったりする。 ・リトミックでは、肩や両手・両足の屈伸等、体全体を意識して動かしたり、異年齢児と積極的に関わろうとする。	・清潔で安全な環境を整え、応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。又、家庭と協力し、子どもの発達過程等に合わせた適切な生活の仕方がつくられていくようにする。 ・保育士等との信頼関係の中で、一人一人の子どもの主体性に関わり、自発性や探索意欲などを高めると共に、自分への自信をもつことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。 ・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 ・自分で生活する場所を整えながら見通しを持って行動する。 ・色々な運動用具の使い方をよく知り、危険な遊び方を色々と自ら安全に遊ぶ。 ・友達と親しみを深め、自分達で簡単なルールを作って遊ぶ。 ・友達と楽しく活動する中で、共通の目的を思いだし、工夫したり、協力したりする。 ・秋の自然に触れ、それらを遊びや生活に取り入れようとすること。 ・時々の役割を知り、生活時間に関心を持つ。 ・絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。 ・人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。 ・身近な生活経験を“ごっこ遊び”に取り入れて、身体や言葉での表現を楽しむ。 ・様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う喜びや楽しさを味わう。 ・リトミックでは、異年齢児との交流やペア活動をを通して、関わり行動に気付かせ、興味、意欲を感じながら楽しむ。
食育	・慣れた食・食べ物や料理、食・物・物にも興味を持つ。 ・自分たちで準備を持って野菜を育て、収穫を楽しむ。 ・衛生生活スタート 食べる前に手を洗おう！ ・こどもの日に食べよう！ かしわもち ちまき ・「さつまいもを植えよう」 ・「スナックアップエントウ」を収穫しよう！	・食の場を共有する中で、友達との関わりを深め、思いやりを持つ。 ・「しつかり噛んで 飲みこもう」 ・「水はのどが強く前へ送らんぞ」 ・「生ごみを畑におくよ 仮がボールコンポスト」 ・「クイズ この野菜なあに？」	・健康と食・物の関係について関心を持つ。 ・「味の魚の大きさは？」 ・「田んぼで育つ おいしい米」 ・「クッキング保育（食事ができる過程を身近に見て、その楽しさを感じ興味や関心を持つ）」 ・「正しい姿勢の持ち方（正しい姿勢の大切さ）」 ・「正しい日 だしを味わおう」 ・「冬の生活 たくさん薬が染まった白濁」	・食事に関わる人に関心を持ち、感謝の気持ちをもち、 ・「口から入った食・物は何どこへ行く？」 ・「見た目いろいろいいる 豆 大集合」 ・「ひなまつりに 餅つきを食べてよ」

【家庭・地域との連携】

- ・行事や日常の保育の中で、何をねらいとして取り組んでいるかを保護者にも伝え、相互理解が図られるようにする。
- ・発達上の課題や支援が必要か否かに対して、家庭との連携や市及び関係機関との協力を図る。
- ・地域の方とは、戸外へ出掛けた際に挨拶を交わしたりしながら、和やかな雰囲気作りを行うようにする。

【評価・反省】

【年間目標（育みたい子どもの姿）】

集団生活の中で決まりを作ったり創意工夫した遊びを友達と発展させたりするなど、共通のイメージを持つ中で、社会的、協調性を育んだり、道徳性の芽生えを培う。

期	1期（4月～5月）	2期（6月～8月）	3期（9月～12月）	4期（1月～3月）
行事	入園式（朝顔のひかり） 内科検診 競走観戦 こともの日の会 保育参観 人形劇観劇 毎週1回（休演鑑賞・書きかた鑑賞） 毎月1回（誕生会・身体測定・運動会）	園科検診 福岡地区保育園園遊会（園手のひ） 夏のおそひ会 プール開き まつり美台台 交通安全鑑賞	小運動会 お月見会 クッキング保育 内科検診 祖父母とのふれあい会 お相撲さんとのふれあい会 七五三お祝い会 小お遊戯会 クリスマスお遊戯会 卒・在園記念写真撮影	年少の会 福町ちびっこ音楽会 保育参観 豆まきの会 卒業鑑賞会 ひなまつりの会 卒・在園記念お別れ会 卒式 園別保育
ねらい	<p>・一人一人の子どもの個性が活かされるようにする。</p> <p>・健康や安全な生活に必要なルールや習慣及び生活態度を身に付け、見通しを持って行動する。</p>	<p>・一人一人の子どもの個性が活かされるようにする。</p> <p>・集団生活の中で決まりを作ったり、共通のイメージを持つなど、社会的、協調性を育む。</p>	<p>・一人一人の子どもの個性が活かされるようにする。</p> <p>・様々な行動に向けて自分なりの目標・目的を持って挑戦し、友達と一緒に活動し作り上げていく楽しさや満足感を味わう。</p>	<p>・一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。</p> <p>・人との関わりの中で自主・自立及び協調性の態度を養い、道徳性の芽生えを培う。</p>
	<p>・一人一人の子どもの健康や安全な生活に必要なルールや習慣及び生活態度を身に付け、見通しを持って行動する。</p>	<p>・清潔で安全な環境を整え、適切な遊びや活動的関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。</p> <p>・一人一人の子どもの個性が活かされるようにする。</p>	<p>・安全な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気づけて行動する。</p> <p>・運動用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しめ。</p> <p>・友達と一緒に活動する中で、約束事を大切に、友達との共通目的を持って協力しやり遂げようとする。</p> <p>・共同の道具や用具を大切に扱い、皆で使う。</p> <p>・身近な遊びや遊具に興味を持ち、自分なりに比べたり、関連づけて考えたり試したりして工夫して遊ぶ。</p> <p>・日常生活の中で図形や、数値への関心を持つ。</p> <p>・身近な自然の関心を持ち、発見を楽しんだり、考えたりして、遊びや生活に取り入れようとする。</p> <p>・自分の名前や平仮名が分かり、文字に表そうとする。</p> <p>・生活の中で言葉の楽しさや美しさに気づく。</p>	<p>・子どもの発達の遅れや発達障害に関する認識を深め保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。</p> <p>・一人一人の子どもの個性が活かされるようにする。</p> <p>・自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。</p> <p>・全身運動が滞りなく進んでいくように、協調性やリズム感を養うと共に、全身の機能的な発達を促す。</p> <p>・身近な人との関わりを深め、思いやりや親しみをもち、人の立場を理解して行動したり、進んで集団活動に参加する。</p> <p>・良いことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動する。</p> <p>・身近な人物を見たり考えたり触れることで、物の性質や数量、文字などに対する感覚が豊かになる。</p> <p>・色々な体験を通してイメージや言葉を豊かにする。</p> <p>・日常生活の中で文字を使って自分の思いを伝える楽しさを味わう。</p> <p>・経験した事や考えた事を適切な言葉で表現したり、相手の話を聞くこととする意欲や態度を持つ。</p> <p>・絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。</p> <p>・保育園生活を振り返り、楽しかったことや心に残ったことを自分なりに絵や文章で表す。</p> <p>・リトミックでは、友達とイメージを共有した上で自分の役割を知り、共に楽しむことが一層楽しくなる。</p>
内容	<p>・保育所における生活の仕方を学び、自分たちで生活の場を整えながら見通しを持って行動する。</p> <p>・元気に活動するには、生活リズムや食事・排泄・睡眠・病気の予防等が大切であるという事を知り、進んで身近な人と関わりながら、信頼感を持ち、喜びや悲しみを共感し合う。</p> <p>・同年齢の友達や異年齢の友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気づき、守ろうとする。</p> <p>・生活や遊びの中で、大まかめが時間区切りがあることを知り、身近な虫や植物に親しみをもち、観察したり、触れる事を楽しめ。</p> <p>・安心して生活する中で、相手への親しみを込めて挨拶をしたり、自分が必要としたことや考えを保育士等や友達に話し、伝え合うことを楽しめ。</p> <p>・揃ったり、作ったりすることを楽しみ、それを遊びに使ったり、飾ったりする。</p> <p>・友達と一緒に音楽やリズムに合わせて、簡単な動作や踊りを楽しめ。</p> <p>・リトミックでは、ペア活動の関わり行為を通じて、社会的や人間性を育む。</p>	<p>・衛生、清潔の意味を知り、体や持ち物を清潔にする。</p> <p>・又、適切な食事と休息を取りながら健康に過ごす。</p> <p>・水遊びの危険性を知り、意識して約束を守りながら十分が体を動かすことへの心地良さ、喜びを味わう。</p> <p>・身近な人との関わりの中で、自分の思ったことを伝えたり、相手の思っている事に気づく。</p> <p>・地域の人々などの自分の生活と関係の深い、色々な人に親しみをもち、より大きな区別として、四季の区別が出来、その特徴を捉える。</p> <p>・自然現象や夏の昆虫などに関心を持ち、その美しさや不思議さに驚くと共に生命の尊さにも気づいていく。</p> <p>・日常生活の中で簡単な認識や文字に関心を持ち、平仮名の読み書きをしようとする。</p>	<p>・友達や保育士等に自分の表現したのを見せたり、聞かせたりすることを楽しみ、また意見を求めたりする。</p> <p>・曲のイメージをつかんで、打楽器や鍵盤ハーモニカ等で合奏したり、気持ちや思いを込めて歌をうたい、表現することを楽しめ。</p> <p>・リトミックでは、友達とペアになる等、グループ意識を持ち身体協調動作を高め。</p>	<p>・自然の恵みと命の大切さを知り、感謝の気持ちをもち、食事を味わう。</p> <p>・「口から入った食べ物は何でできているか？」</p> <p>・「見たままのいろいろな豆、大集合」</p> <p>・「ひなまつりにちま子を食べてみよう」</p> <p>・「アツパルパイを作ろう」</p>
	<p>・様々な食べ物や飲み物を食べ、自分の健康に関心を持ち必要な食品を進んで選ぼうとする。</p> <p>・衛生生活スタート 食べる前には手を洗おう</p> <p>・「こともの日に食べよう！ かしわもちまき」</p> <p>・「さつまいもを植えよう！」</p> <p>・「屋上ランチをたのしもう！」</p>	<p>・地域で遊ばれた食文化を体験し、郷土の関心を持つ。</p> <p>・同じ食事を食べたり、分け合ったりして食事をすることを喜び。</p> <p>・「しつかり噛んで 飲みこもう」</p> <p>・「水はのどが乾く前に飲もうね」</p> <p>・「クイズ この野菜はなに？」</p> <p>・正しい目 だしを味わおう</p> <p>・冬の生活 たくさんお楽しみあった白菜</p>	<p>・自分たちで愛情を持って野菜を育て、収穫を喜び。</p> <p>・「秋の魚の大きさを比べ」</p> <p>・「田んぼで育ったお米を味わおう」</p> <p>・「芋ほりを体験しよう」(サツマイモの収穫)</p> <p>・「クッキング(保育) 食事のできる過程を身近で見て、その楽しさを味わおう」</p> <p>・正しい目 だしを味わおう</p> <p>・冬の生活 たくさんお楽しみあった白菜</p>	<p>・自然の恵みと命の大切さを知り、感謝の気持ちをもち、食事を味わう。</p> <p>・「口から入った食べ物は何でできているか？」</p> <p>・「見たままのいろいろな豆、大集合」</p> <p>・「ひなまつりにちま子を食べてみよう」</p> <p>・「アツパルパイを作ろう」</p>
食育	<p>・様々な食べ物や飲み物を食べ、自分の健康に関心を持ち必要な食品を進んで選ぼうとする。</p> <p>・衛生生活スタート 食べる前には手を洗おう</p> <p>・「こともの日に食べよう！ かしわもちまき」</p> <p>・「さつまいもを植えよう！」</p> <p>・「屋上ランチをたのしもう！」</p>	<p>・地域で遊ばれた食文化を体験し、郷土の関心を持つ。</p> <p>・同じ食事を食べたり、分け合ったりして食事をすることを喜び。</p> <p>・「しつかり噛んで 飲みこもう」</p> <p>・「水はのどが乾く前に飲もうね」</p> <p>・「クイズ この野菜はなに？」</p> <p>・正しい目 だしを味わおう</p> <p>・冬の生活 たくさんお楽しみあった白菜</p>	<p>・自分たちで愛情を持って野菜を育て、収穫を喜び。</p> <p>・「秋の魚の大きさを比べ」</p> <p>・「田んぼで育ったお米を味わおう」</p> <p>・「芋ほりを体験しよう」(サツマイモの収穫)</p> <p>・「クッキング(保育) 食事のできる過程を身近で見て、その楽しさを味わおう」</p> <p>・正しい目 だしを味わおう</p> <p>・冬の生活 たくさんお楽しみあった白菜</p>	<p>・自然の恵みと命の大切さを知り、感謝の気持ちをもち、食事を味わう。</p> <p>・「口から入った食べ物は何でできているか？」</p> <p>・「見たままのいろいろな豆、大集合」</p> <p>・「ひなまつりにちま子を食べてみよう」</p> <p>・「アツパルパイを作ろう」</p>
【家庭・地域との連携】	<p>・行事や日常の保育の中で、子どもの成長の様子を共有したり、何をねらいとして取り組んでいるか等を保護者にも伝え、相互理解が図られるようにする。又、発達上の課題や支援が必要なき子に対しては、家庭との連携や市及び関係機関との協力を図る。</p> <p>・保護者と個人面談を行い、小学校への円滑な移行ができるようにする。</p> <p>・地域行事への参加により豊かな生活体験をはじめ保育内容の充実が図られるようにする。</p>			
【評価・反省】				

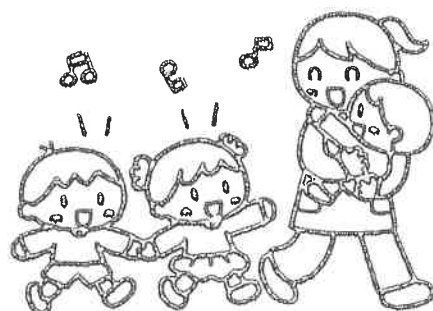
令和5年度 年間行事予定表

月	保護者 参加行事	その他の行事	誕生会 (日にち)
4	入園式 (1) 歓迎遠足 (15)	・毎月 各クラス身体測定 ・月1回 避難訓練 ・毎週火曜日 体育教室 (はと・はな・でんでん組) ・毎週金曜日 書き方教室 (はと組) ・内科健診 でんでん・はな・はと組 (5) てんとう・ひよこ・ちょう組 (12)	20
5	保育参観 はと組 (17) はな組 (24) でんでん組 (31)	・こどもの日の会 (1) ・同窓会 (13) *卒園生の1,2年生 ・人形劇観劇 (はと・はな組)	11
6	てんとう組 (7) ひよこ②・ちょう②組 (14) ひよこ①・ちょう①組 (15)	・歯科健診 ・福岡地区保育園相撲大会 (はと組選手) (17)	15
7		・プール開き ・夏のあそび会 (はと・はな・でんでん組) (26) てんとう・ひよこ・ちょう組 (27)	13
8	まつり美和台 (はと組) (5)	・交通安全教室 (16)	17
9	大運動会 (30) (マーチング発表含む)	・小運動会 (19)	21
10		・内科健診 でんでん・はな・はと組 (4) てんとう・ひよこ・ちょう組 (11) ・祖父母とのふれ合い会 はと組 (11) ・ はな組 (12) ・ でんでん組 (18)	19
11		・お相撲さんとのふれ合い会 (1) ・七五三お祝い会 (15) ・小お遊戯会 てんとう・ひよこ・ちょう組 (20) でんでん・はな・はと組 (22)	16
12	クリスマスお遊戯会 (9)	・卒・在園記念写真撮影 (13) (年末・年始のお休み 12/29~1/3)	21
1	福岡ちびっこ音楽会 (はと組) (21) 保育参観 ※日程等未定	・年始めの会 (9)	18
2	入所説明会 (新規児) (17) 進級説明会・保護者会総会 継続児 用品渡し (24)	・豆まきの会 (1) ・音楽鑑賞会 ・ひなまつりの会 (29)	15
3	卒園式 (16) 新規児 用品渡し (21)	・卒・在園児お別れ会 (11) ・園外保育*園児のみ(21) ※お弁当持参 (ちょう・でんでん・はな・はと組)	14

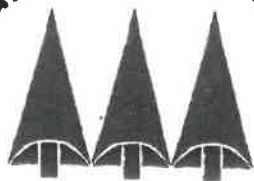
※ () の数字は日にち

職員名簿

理事長・園長	西村 瞳			
主任保育士	岡村 美千代			
はと	田中 麻衣子	野田 愛美		平島 依子
はな	古家 順子	吉長 千尋		
でんでん	松尾 幸子	石井 繭子		川口 亜樹
ちょう	浦川 直子	松井 茉央	佐久間 理子	
	篠崎 未来	木戸 妙子	井関 恵美子	
ひよこ	下田 典子	小川 美穂	野田 ひかり	高屋敷 あかり
	安部 里美	上笠 言枝		
てんとう	津留 智子	佐藤 瑛梨香	吉田 茜	
給食	谷川 志穂	植上 景子	内田 しのぶ	
アドバイザー	西村 洋子			
フリー保育士	伊藤 里香	佐藤 良子	西牧 美由紀	
子育て支援員	緒方 初子			
給食(パート)	松枝 邦子	緒方 美佐子		
事務	中村 順子	徳村 文		
清掃等	キエラン ピーター エディ			
育児休業(保育士)	埋金 真美			



SHIZUGAOKA HOIKUEN



社会福祉法人 美和会

静ヶ丘保育園

〒811-0212 福岡市東区美和台7丁目28番1号
TEL 092(607)2411・FAX 092(606)8597